（明治四十一年十一月三十日第三種郵便物認可）（毎日發行）月曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年十二月十九日（日曜日）第二百九十二號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵税一ケ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

昔茶澁茶

▲元祿快擧錄出づ

昔への英雄怪傑傳或は烈女孝子傳等世に行はるゝもの、多くは牽强附會の說になり其の眞を傳ふるものは甚だ尠し彼の元祿赤穗義士の傳の如きも即ち其の一なり、講談師の語る所浪花節に聞く所黄表紙に見る所は元より觀者と聽衆とをして快感を與ふるを主とするが故に如何に事實を沒却しあるも如何なる粉色を加ふるも差支へなけれど往々にして史家の物せし傳記の尚ほ信を措き難きものあるは識者の夙に浩嘆する所なりしが、我先輩日南福本氏茲に慨する所あり史筆を呵して此が正傳を編む、題して元祿快擧錄と云ふ本書三篇二千百十頁より成る、日南博學多識加ふるに史眼あり幽を闡き微を穿ち疑を去り眞を叙べ考證頗る力む、初めて義士の眞髓を知るを得たり、教育家の武士道を鼓吹するに當り資料を義士傳に採る者遂に迷はざるに庶幾からんか、四十七士も亦た以て瞑するに足るべし。余輩は昨藤井先生の諺語大辭典の世に出でんとするを聞き今亦此の書を手にす、欣喜措く所を知らず。

▲義を重ずるなし

嘘言を發する元より宜しからざれども己れの非を掩はんとして窮して嘘言を吐くは尚ほ恕すべきが如し、然れども己れの非を掩はんが爲めに友を賣るが如きは斷じて宥すべからず、一事を友と倶にし事の順潮なるに當ても頗る相和し相親しむが如きも一朝にして事の敗るゝに及んでや己れ先づ走り罪と損とを其友に課せんと謀るもの世間往々にして是れあり、陋劣寔に憎むべからずや、然も自己の利害の爲めには如何なるものをも犧牲となし這は己れに損なり那は己れに利ありとして必ず先づ損と益とを珠算する所謂自己本位主義に非ずんば遂に此の社會に生存すること能はざるか。

▲世人盡く墮落す

新聞紙は常に强盜、强姦、殺人、詐僞乃至は紙幣の贋造、文書の僞造等を以て埋めらるゝと雖ども近時の如く公吏官吏或は議員代議士等所謂紳士と世に持て囃さるゝ輩の意外なる犯罪に由て警官の手にかゝり縲絏の辱しめを受くることの記事の連載せらるゝことは甚だ奇異なりとせざるを得ず是れ果して新法の峻嚴に過ぐるが故に然るか、警官の手の行き屆くが爲めに然るか、抑々又た世人の既に墮落し盡くしたるによれるか、噫。

雜報

東拓訴訟事件判決（三）

理由

被控訴會社は明治四十一年法律第六十三號に因り特設せられたる日本法人なり同時に同會社が韓國法人にして住所は韓國にありと雖ども日本法人たる國籍に異動無き限りは之が爲め日本法規を適用するに何等の支障ある事無し次に第一論旨に付甲第一號總會の通知を閲するに其文辭中に總會相開き左記事項御承知相願度云々と有るを以て總會の目的の何たるを知る可く又第一回株主定時總會決議事項として第一事業報告承認の件、第二財産目錄承認の件、第三貸借對照表承認の件、第四損益計算書承認の件、第五利益分配案の件と列記するを以て總會に於て決議す可き事項の何たるを知る可し既に其何たるを知るを得ば即ち總會の目的及總會の決議す可き事項としては其內容の概要を豫知せし決議權行使の準備の爲め可否の表決に資す可き材料の掲記を要すと云ふに在れども商法第百五十六條の規定を案ずるに法律は會社に對して總會に於て決議す可き事項の記載を命ずるも可否の表決に資す可き材料即ち決議に要する事項の掲記を命ぜざるは明白なり謂ふに二週間前に通知を發するは各株主をして決議事項に付其表決權を行使するに充分なる準備を爲すを得せしむるの趣旨に外ならざるや言を俟たず是を以て株主は通知書に因り決議す可き事項を知り其決議に要する事項に付ては各責任者の書類報告等を見閲査閲し且必要あれば更に進んで自ら調査を遂げ以て表決に遺憾無きを期せざる可からず是れ株主の義務にして又其權利なり故に決議に要する事項の材料を給するは株主の需要に因りて生ずる會社の義務なりと論ずるを得可きも此義務は通知に付法律が會社に命じたる義務の範圍に非ざる事は法文上一點の疑を存せず從て本件の通知は適法にして總會決議の無效に非らざるは勿論なり又控訴人は大審院判決例を引用して其法律上の解釋は確定の効あるが如くに論ずるも我統監府裁判所には別に高等法院の在る有り大審院判決例の如きは一個の學說と軒輊無し第二控訴人は訴の變更を爲す者にあらずとの點を闡查するに本件第二論旨に付ては控訴人が第一審に提出したる準備書面中に其記載なく又其口頭辯論の際陳述したりとの事實に付ては調書を以て之を明確ならしめず而して他に之を認む可き證明無きを以て被控訴人申述の如く控訴人が當審に於て始めて申立てたる新事項と認むるの外なし然らば控訴人は第一審に於ては訴の原因として第一論旨たる不法通知の事實のみを申述し當審に至りて更に第二論旨たる不法表決の新事實をも申述し明かに總會決議の無效を請求す法律關係の基本たる事實を附加する者なるを以て訴の原因を變更するものと謂はざる可からず從て本件第二の論旨は新訴にして許す可からざるものなるが故に之を却下す

京城控訴院民事第一部
裁判長統監府判事　三宅長策
統監府判事　山口貞昌
統監府判事　水野正之丞

原本に依り此正本を作る
明治四十二年十一月十日
京城控訴院書記　李番景　印

和歌募集

勅題「新年雪」　選者　九皐舘去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日　本社編輯局

日本銘刀傳

第二席　邑井一講演

毎日〳〵餘念もなく見て居ると、如何にも汚ない衣類を着て、見苦しいけれ共、どつか高慢ちやくれた小僧だ甲「コウ、彼の餓鬼が又來て居る、ヤイ〳〵其處に立つて居ちや暗らくて仕事の邪魔になる、見たけりや此方へ入つて見ねえな　小「其方へ入つても宜しうございますか　乙「其所に立つて居ちや暗らくてならない、宜い所ぢやない此處へ這入んな、暗らくて仕方がねえ　職「コウ、小僧お前毎日雨が降つても風が吹いても毎日缺さず見に來て居るが、何所か面白くて見に來て居るのだ　小「何所が面白いと云つて……万遍なく面白うございます　甲「其樣に遊んで居ても別段叱かれもしねえのか……親方に小言は云はれねえのか　小「小言を云はれるのは承知でございます　乙「小言を云はれるのを承知で油を賣つて居ちやア困るぢやアねえか　小「昨日なども大變に叱かられました、餘計に見て居たものですから……　職人「困りものだな」話最中へ行光が出て來て　行「是れが評判の小僧か　職「へー此でございます、毎日來ては夢中になつて戸口の柱を叩くので柱が疵だらけになつてしまひました、私等仲間で柱叩きの小僧と綽號を付けて居ります　行「オヽ、さうか、イヤ小僧さん、外の稼業と違つて、俺の稼業を見て夢中になつて、戸口の柱に疵を付けると云のは頼もしい、お前は何處の小僧だ　太郎作桶屋の小僧か、長作桶屋か……　小「太郎作の家に居舛　行「桶屋になつてタガを掛けるのと、刀鍛冶になつてテンテンカンカンとやるのと何方が面白い　小「何うか私も旦那の御弟子になつて刀を鍛ね、何とか言はれるやうになりたうございます　行「ウム、桶の椽を叩いてトンカンと暮すのと、刀を鍛ちながらテンカンと、天窓を振るのと太した違いはなからう　小「私は刀鍛冶になつて名前を揚げたうございます　行「高慢なことを言ふな太郎作が俺の弟子に呉れるかしら……　小「夫れは承知をしますまいと、貧乏桶屋の手前のやうな小僧は入らねえから、死んでしまふなり何處ぞへ往くなりしろと始終言つて居ります　行「さうか毎日來て見て居るんなら相槌くらゐは出來るだらう、一つやつて見ろ、試してやるから　小「やつても宜しうございませうか　行「やつて見るが宜い、此方へ來い　小「難有う存じます」そこで小僧は尻を端折つて、手頃の槌を取つて身繕ひする　行「さア向ふへ廻はつて遠慮なく振つて來い、手前が刀鍛冶になれるかなれぬか試てやる、遠慮なく一生懸命に振つて來い」打盤に向つて行光が乾と身搆へする、其內に右の小僧が槌を執つてカーンと、打込むテーン、テーン、カーン、カン、テーン〳〵カーン〳〵とホンの慰みに出來るか出來ぬかと試して見たのだが、なか〳〵調子が旨い、やがて半ば鍛ねた鐵を取上げて見ると地金の延びて居る工合が、萬更外の野郎の向槌とは違ふやうだ　行「ウム、此奴は妙だ好し〳〵俺が立派な刀鍛冶にしてやらう　小「難有うございます、何分宜しくお願ひ申ます」と、萬々頼んで小僧は歸りました、翌日行光は桶屋へ出て來て話をすると太郎作も喜んで　太「何分宗匠、貰つて下さいまし私共では小僧は餘計なんでございます、此の小僧を手前共へ置きましたのは、斯う云ふ譯なんでございます、此の夏のことで私が用事があつて近所へ出掛けると、老爺の巡禮が此奴を連れて、癪が起つて苦しんで居るのを、此奴が後へ廻はつて頼りに撫つて居る、私が通り掛つて見兼ねたものですから、今夜は俺の家へ來るが宜いと泊めてやつたのですが、スルと又暁方激く苦んして老爺は死んでしまつたのです今更何うすることも出來ませんから、死骸は寺へ投込み同樣に葬つてしまい、後に殘る小僧も往き所がねえので、俺の家に居るが宜いと、追ひ廻はしに使つて居ります、さう云ふ譯ですから宗匠が貰つて下さりやあ、當人大仕合、何分宜しく御頼み申します。

入院隨意　菅醫院
京城西小門通六番戸
電話改番　一三一五

廣告
中村耳鼻咽喉眼科院
本町二丁目
入院隨意
赤貧者施療
診察　自午前九時至午后五時
毎月十五日休業

私儀
遠藤洋服店勤續中各位の御引立を蒙り奉拜謝候今般退店上左記の所に於て營業仕候就ては格別の御引立相蒙度奉願上候也
南大門通四丁目天一銀行側南半丁
土谷洋服店
店主　土谷彦次郎

廣告
右は職長として永年勤續仕候處今般合意退店の上同業相營み候に付ては弊店同樣出格御引立被成下度奉願候敬白
明治四十二年十二月一日
大漢門前　遠藤洋服店
土谷彦次郎

齒科治療
本町六丁目
ドクトル　中村安子（鍛そば横町）
追而出前は電話にて御申付被下度即刻御用相達し可申候

輕便御料理　開業廣告

好きなれば樂鑵を燒てさまして頭へ被ると云ふ人樣々の數にもれぬ醉狂者の主人、今日此頃の不景氣に愛想をつかし永年つなぎ止めたるひるきの綱をさらりと切ると云ふ韓洋亭を世はいつまでも霜枯れの寂びしさ續きにもあらじやがては花咲く春の來時もあるものをさりとは口惜しと讓り受け返咲きの名も戀の辻占に縁ある河內屋と名乗り萬事粧ひを新たにし本日より開業致候
さて改まる商賣振りは手前味噌の憚り多けれは殊更吹聽致さず一度御運びの上の御試に任せ候も從來の三國的なる料理を和洋兩樣に改め會席及び一品の御誂ゑともすべて御手輕を專一とし又球突場及風呂等も設備を新にし御隨意御召に供し色も香もある粹の所を御賞賛に預り度存候何卒從來の御愛顧に彌增し永く御引立に預り度希上候
十二月十五日
京城大和町一丁目
元韓洋亭跡
河內家
電話六三九番

謹祝露帝命名日

京城新報

西暦一千八百九十四年十一月一日、御齢二十有七にして御位に即き給ひ、全露西亞大帝國に君臨し給ふ皇帝ニコラス第二世陛下は、先帝アレキサンダー第三世陛下の御長子にましまし、一千八百六十八年五月十八日を以て露都聖彼得斯堡に生れ給ふ、而して全露西亞國民は同皇帝陛下が登極し給ひてより毎年陛下の御命名日を以て國民の一の祝祭日となし、滿腔の熱誠を注いで陛下の萬歲を祝するを例とす。而して本十九日は實に其の御命名日に相當す、余輩も亦た此の御命名日に當て全露西亞國民と共に祝杯を擧げて陛下の聖徳を仰ぎ併せて聖壽の万歲を祝するの光榮を擔ふを喜ぶ。

恭しく惟みるに陛下登極し給ひしより常に心を平和に注ぎ給ひ、内は國民の福利を計り國政の釐革に大御心を惱ませ給ふ傍ら、未だ曾て外列國と親和を共にし世界萬民と共に幸福を增進せんことに軫念あらせられざるなし。不幸我國與に陛下の邦國と干戈の間に相見ゆることありしも、开は唯一時双方の誤解によりて釀成したる凶事なりしに過ぎずして、互に相讓り相妥協し後ち協商の訂結せらるゝものありしより、日露の國交は舊に倍して敦く、日に益々和親を加ふ。是れ實に陛下が心を平和に注ぎ給ふ實證にして、今日東洋の平和が如斯鞏く東洋の國民が長く永く平和の樂しみを受くべきを確保せらるゝ所以は、實に專心一意平和を冀ひ給ふ我が今上陛下と露帝陛下の有るあるを以てならずや。偶々第三國の之に障碍を試むることあるを耳にせざるに非ずと雖ども、焉ぞ此鞏固たる兩國の親善を傷くることを得んや。

兩國の親善は實に東洋の平和を確保す、東洋の平和は實に世界の平和を確保す、而して世界の平和を確保する兩國の親善は日に益々篤きを加ふ。余輩は東洋國民の幸福の爲めに祝賀するのみならず實に世界人類の爲めに祝賀す。余輩は兩國の主權者及び兩國の政府が兩國の親交に向て腐心するのみならず、兩國の民人が多々益々和親の道を講し互に相接近して離るゝことなく互に相提携して東洋の平和をして永久に確保せしむるに力むべきを望む。是れ實に陛下の御大心に酬ゆるのみならんや實に世界人類の爲めに貢獻する所以のものなり。此の兩國和親の間に露國皇帝陛下の御命名日ケ迎へ、陛下の聖徳を頌へて聖壽の萬歲を祝し奉るを得るは余輩の大に光榮とする所のものなり。

終りに臨んで曾て接手したる露國皇后陛下の御危篤の報は、一の虛報に過ぎざりしこと近頃確かめられ、今日皇后陛下も亦健かに皇帝陛下の萬歲を祝するを得させられ給ふとは余輩の欣喜をして一層多大ならしむるものなり。

東京電報

▲驅逐艦電の沈沒　驅逐艦電(三百十一噸、六千二百馬力、速力三十一節)十六日大湊より箱館に向ふ途中漁船と衝突沈沒し水兵二名溺死したり(十七日夜着)

▲我陛下の御弔電　天皇陛下は白耳義皇帝陛下の崩御を悼み深厚なる御弔電を發せらる(十八日)

▲皇孫の靜岡御成　三皇孫殿下には丸尾御養育係長以下供奉員を隨へ十一日靜岡下修善寺村に成らせらるゝ旨仰せ出さる(十八日)

▲澁澤男爵號泣す　澁澤男爵は伊藤公の兇變を哀むの餘り出迎の村田中將と相擁し涙を垂れて曰く貴君を見ると泣きたくなると滂沱たり村田中將爲めに暗涙に咽せび傍人皆貰泣きせり(同上)

▲鐵道院の韓國工場　鐵道院は龍山に韓鐵管理局及運輸保線の兩事務所を京城鴨綠江に出張所を草梁、龍山、兼二浦に工場を設置する旨公布せり(同上)

▲歲末と大阪市況　大阪の歲末市況は昨今に到り米穀の輸送を見九州航路の如き每船滿載の好況にて現に九万噸の滯貨ある有樣なれば新年は一層の活氣を呈すべし(同)

▲玄米品評會の計畫　全國米商大會は明年四月神戶に開かるべく此機を以て大規模の全國玄米品評會を行に決し會場は深川澁澤倉庫

▲セメントトラスト成る　淺野小野田大阪櫻島臺灣の各セメント會社は價格の低落を防止する爲めトラストを組織せんと企て明春より實行に決定せり(同上)

▲韓太子と御用掛　公爵伊藤博邦は韓太子御用掛仰せ付らる

▲矢吹中將の逝去　陸軍中將矢吹秀一氏は昨夜逝去す(同上)

▲肥料會社の總會　東京人造肥料會社に二十四日臨時總會を開き社債百萬圓募集の件を決定する筈(同)

歐州電報

▲白國皇帝の崩去　白耳義國現皇帝レオポルド第二世陛下は御手術後の經過宜しからず遂に昨十七日午前二時卅七分崩去あらせられたり陛下は千八百三十五年四月九日御誕辰同六十五年十二月十日皇位に即かせられたる御方なり(十八日着)

▲清國海軍視察使　清國海軍視察使洵貝勒殿下一行倫敦發巴里に向ふ

桑港電報

▲尼國大統領の辭職　ニカラグア國大統領辭職す(十八日着)

韓報

金融組合の現況

金融組合の營業現況に就て河内山度支部監督課長の談を聞くに左の如し

▲金融組合總數　政府は各地金融の圓滑を計る一策として全國樞要の地百箇所を撰び金融組合を設定する事に決し既に今日迄七十三箇所を設置し殘部二十七箇所は目下設立準備中に在り

▲組合の放資高　各組合の貸出高は合計七十餘萬圓に達し居れるが内回收額三十萬圓現在貸出高四十餘万圓あり此外補助貸の散布を計る爲め貨幣整理資金として十八萬圓を借入れたり

▲資金貸付方法　資金貸付の最長期限は十ケ月一人に對し五十圓を限度として細民に融通し居れり利子は百圓に付日歩四錢乃至五錢なるも不動產擔保の者は三錢二三厘の利子にて貸付居れり

▲組合附帶事業　組合の兼業として農業材料品配付、委託販賣共同購入等を營み居れるが此等に投せし資金は約二万圓に達せり其他農業技手を五十箇所に配置し試作田、監督田約八町歩を設け其他時々農作品評會又は稻扱傳習會農事講習會を開き農事改良に努め居ると

●魚菜市場公設問題　目下當地には南大門と東大門の二箇所に民業魚菜市場を有するも孰れも交通を妨げ衛生上極めて不潔なるのみならず元來私設市場にあつては營利を眼目とせる爲め物貨の昂騰を來すは自然の數にして單に之を市の外觀に就てのみ見るも不体裁千萬にて早晚魚菜市場公設を見ざる可らざる機運に迫りたるを以て當局者に於ても協議中なりしが漢城府は自治制に非ざるを以て之を管轄する能はずさりとて民團に一任するも稍々偏したる傾あり依て漢城の公衞生を旨とせる漢城府衞生會に於て主宰となり既に數箇月以前より委員五名を擧げ專ら調査中なるが今其の方針の一端を聞くに現今の南大門市場を廢し泥峴の某所に一箇所東大門市場を廢し理事廳監獄跡に一箇所、龍山に一箇所都合三箇所新設の豫定にて之が費用は漢城衞生會の特別會計を充用する由現に理事廳監獄跡へ市場開設を願出でたる者廿餘名に及びたれど右の方針なれば漢城府に於ても一切認許を與へざる事となるべく南大門東大門兩市場は魚菜市場の公設と共に大打擊を蒙るべし

●日韓瓦斯の重役會　日韓瓦斯電氣會社にては去る十四日午前東京瓦斯會社樓上に重役會を開き這般韓國に赴きたる岡崎專務の報告を聽取し當期決算並に京城に於ける電氣鐵道擴張に關し協議する處ありたるが電車の擴張に就ては市區改正に伴ふ線路の延長、軌條、車輛の取換修覆及び既設線路複線敷設等に要する資金約五十萬圓は株金拂込に依らず借入金を以て支辨する事又當期決算に就ては少くとも本年一杯を經過したる上ならでは確たる見込立たず結局瓦斯會社の內藤技師を韓國に特派し決算準備並に諸般の調査を爲さしむるに決したる由なるが一當局者の語る處に依れば豫定配當年五分以內なるに於ては來年二月の總會には全部次期に繰越し來年上半期財界の景氣を見定め八月に至り六朱以上の配當を爲さん方針なるが如く又借入金に就ては既に横濱在留米人セルドン氏に内意を含みて實業團一行と渡米せるも利率が七朱以上にも付くに於ては寧ろ内債を利益とすとの意嚮もありと

●國有未墾地許可數　農商工部農務局の調査に依れば隆熙元年國有未墾地利用法發布以來本年十月までに日韓人の國有未墾地の貸付請願をなしたるもの全國を通じて千六百八十八件に達したるが其内許可となりたるもの百三十七件あり今之れを道別にすれば左の如し

道名	貸付許可件數	許可地面積
京畿道	三	三、九三六、二四坪
忠淸北道	…	…
忠淸南道	一四	六、三一九、一三三
全羅北道	四	六五八、三四〇
全羅南道	一四	三、五三四、〇三四
慶尙北道	六	四七五、七六三
慶尙南道	一八	四、八一八、七五九
黃海道	一八	一、五六一、九八六
平安南道	六	一、六三九、八八九
平安北道	一〇	九二九、六九三
江原道	…	…
咸鏡南道	一四	二五、七二六
咸鏡北道	一	九四〇
計	一三七	三二、〇九〇、六四六

●韓政府建築工事數　政府は建築の統一を圖る爲め光武十年九月建築所を創設し各官衙廳舍官舍等の新營改築を掌理せしめ日韓協約の結果として是等諸設備に要する總費額二百七十九萬四千八百圓を補助せられ同二百六十五萬六千八百圓を建築所に配置し二ケ年の繼續事業として計畫せし爲め着々事業の進捗を見つゝありしが隆熙二年八月臨時稅關工事部を建築所に合同したるを以て政府に屬する諸建築工事は總て建築所の所管に屬したり今新築工事の主要なるものを擧ぐれば内閣廳舍各部廳舍病院學校各工場栽判所警察署及各官舍等にして隆熙二年末迄に竣工せる工事の主なるものは大韓醫院廳舍、現度支部、大審院、印刷局、工業傳習所、群山、鎭南浦稅關廳舍其他各地稅關官舍等にして三年度に於て起工せるものは二百〇五件なりといふ

●各海關工事と費額　光武十年以來稅關工事部(隆熙二年建築所に合併)を設置し八箇年の繼續事業として各地稅關に於ける諸廳舍倉庫上屋埋築防波堤船橋棧橋其他海陸聯絡諸設備工事に着手し目下進行中に屬する今海關工事費年割額を表示すれば左の如し但し燈臺工事費は本表に包含せず

光武十年	二十六萬三千百五十二圓
隆熙元年	百六万五千四百五十一圓
同二年	百廿三万五千三百七十七圓
同三年	九十三萬九千二百八十六圓
同四年	七十一万九千百七十圓
同五年	廿六萬八千三百九十四圓
同六年	二十五万圓
同七年	十七萬圓
計	四百九十萬八百三圓

●鐵道管理局各課長　新制の鐵道管理局内各課長左の如し　庶務課長瀧脇熊太郎、營業課長岡正矣、工務課長横井實郎、工作課長兼運輸課長鶴尾謙親、建設課長遠藤藤吉、龍山運輸事務所長村瀨鎌次郎、龍山保線課長久門雄二、平壤出張所長小城齊、鴨綠江出張所長岡村初之助

●合邦上奏書の强請　一進會が内閣に執奏を乞へる日韓合邦に關する上奏書は既に二回まで却下せられ更に三たび提出したる事は既報の如くなるが右は六たび却けらるゝも七たび到れば上覽に達せざるを得ずと云へる萬人疏の舊例に基き夫れ迄は互に押し返し競べをする積りなりと云ふ

●免許漁業の審查會　一昨十七日の審查會は全南の各島嶼中百六十件にして中百件は許可するに決定し殘餘六十件の中秋子、靑山、大黑山の三區域は再調査に附することとし許は免許漁業の範圍に非ざるものゝ出願なるを以て却下するに決したる由なり

●謝罪使の出發決定　伊藤公謝罪使派遣に就ては其後紛糾ありしに係らず愈々十九日十三名の謝罪使渡日に決定したるを以て若林總監は之を警視廳に召喚し天皇陛下に奉る上奏文は中止すべきを諭し伊藤公墓前にのみ參拜することになりたりといふ

●露國皇帝の命名日　今十九日は露國現皇帝ニコラス二世陛下の御命名日に相當するを以て當日午后一時まで當地同國領事館に於ては祝賀を受くる由なり

●學部所管人員移動　熊本縣阿蘇郡視學吉田勝馬氏及び仁川日語學校卒業生一名は公立珍島普通學校へ龍川指定學校敎監大塚忠衞は寧邊普通學校へ夫れ〳〵轉任を命ぜらる

●小荷物輸送の連絡　鐵道廳と大坂商船會社との間に於て今般手小荷物に關し海陸輸送連絡を爲したる由にて旅客の爲頗る便利なるべし

●米國領事館午餐會　米國副領事グード氏は昨十八日午後一時より小松、池邊兩書記官菱田囑託其他數氏を招待して午餐會を開けり

●公州警察署長會議　公州の署長會議は既報の如く十八日より向ふ五日開催の筈なるが今村警視は今晚同會議に列席の爲め出張の由

●博士ハリス氏渡日　滯京中なりしビショップハリス氏は數日中渡日するを以て十八日小松外務部長事務取扱を訪問告別の挨拶をなせり

●龍山日の出の發展　龍山日之出新聞は今回社長に新橋榮次郎氏を戴き主筆として古怪庵木塚常三氏入社し大々的發展を試むる筈なりと

●三十七八年會開會　既報三十七八年會は會員贊成者百五十人に上り十八日午後四時より開會せり

●敍任辭令　十七日付左の辭令あり

副理事官兼統監府書記官　池邊龍一
免本官專任統監府書記官(六等)
任理事廳副理事官(七等)　統監府屬　中野太三郎
任理事廳副理事官　統監府屬　入江海平
同　今村武志

●築港期成委員會　仁川築港期成會にては一昨十七日午後七時より仁川民役所樓上に於て委員會を開き岩崎民長より同問題に關する上京報告あり今後の運動方針を決議して散會したりと云ふ

●微笑會と臨濟錄　中川檢事正外十數氏の會合せる微笑會は例に依り昨十八日午後六時より田山大嶽師の臨濟錄提唱を京　商業會議所に聽講したり

●財務法規加除綴　龍山印刷局にて發行したる第二回財務法規加除綴は代金六十錢にて何人にも分配する由にて度支部文書課にて其申込を受くべしと

●釜山穀物集散槪況　釜山穀物組合及び市場に於て調査せし先月中の穀物集散如左(釜山通信)

▲輸入　十一月中鐵道便にて釜山港に廻着せる總數は九萬一千九百九十三個にして前年の同期に比すれば二万九千七百八十六個の輸入增を來せり之れ即ち大豆の輸入に於て著るしく增加したるものにして米に於ては大差なきも要するに本年大豆の作柄前年に比し增收ありたる事實を現出せるものに外ならず殊に本年新大豆の出廻當初より計上するも前年は九万六千二百十二個なるに本年は十八万八千七百六十四個にして約二倍弱の增加あるものとす又前々年即ち四十年の同期に比すれば四万六千五百七十四個の增を現したる然るときは最近三箇年中最も本年が多數の出穀を見たるものにして爾後の輸入は果して如何なる現象を呈するや疑ひなきにあらざるも未だ以て產地に皆無なりと云ふを聞かず左すれば爾後も相應の輸入なきにあらざる乎と思はれたり殊に京義沿線の大豆は前年に於ても十二月を以て出廻りたるにより本年に於ても亦十二月以降に於て京義沿線の輸入を見るべきも一つは以て相場の如何にあるものと云ふべし尙ほ洛東江出廻りも即ち船便による輸入は總計二万二千七百四十四個にして前年に比すれば八千百二十四個の增にして之れ又米、麥、豆共に增加を來したり

▲輸出　本月中當港の輸出高は一萬四千二百六十九石にして前年に比すれば九千二百七十九石の增にして其の重なるものは玄米の輸出增なりとす麥は千百七十二石にして前年に比すれば一千〇二十七石を增加したり之れ大麥の輸出增にして殊に淸國輸出ありたるによる又豆は六万三千〇六十八個にして前年に比すれば三萬六千二百九十三個の增加を來せり之相場の高低に拘はらず輸入增加に誘ふの輸出增に外ならざる者とす今輸出價額前年の比較を擧ぐれば

品名	四二年	四一年	高低	
玄米	八、四四〇	九、八七〇	低	一、四三〇
精米	九、八五〇	一一、六九〇	同	一、八四〇
大麥	二、九九〇	三、八六〇	同	〇、八七〇
小麥	七、〇〇〇	—		—
大豆	五、一四〇	五、六四〇	同	〇、五〇〇
小豆	七、〇四〇	九、五〇〇	同	二、四六〇
荏子	七、七四〇	一一、五〇〇	同	三、七六〇

●歲末の市況　本年も二週間足らずの殘日となり何れも越年の準備に忙殺されつゝあるが一般市場は極て沈衰し商家何れも不景氣を喞せざるはなく殊に中流以下の商家は息も繼げざる者の境にあれども是等の多くは元々不健全分子にして假令順況にあるも到底自滅の境を脫する能はざるものにて要するに金融界は昨年末より本年の方寧ろ健全にして敢て悲觀すべきにあらず

●松永氏夫人の訃　京韓民團議員松永達次郎氏夫人あき子は病氣の爲め大韓醫院へ入院治療中の處一昨十七日午後二時遂に死去したり尙ほ葬儀は昨十八日午後四時日韓禪寺に於て營みたり

●山岡稅關長歸任　入京中なりし釜山稅關長山岡義五郎氏は同主事兩井梅太郎氏を從へ十七日出發歸任したり

●米大使館員出發　駐在米大使館書記官カムベル氏は韓國觀光の爲め入京中なりしが昨十八日出發歸任したり

●二技師等の歸任　木浦勸業模範場長技師佐藤政次郎、鄂山同三浦直次郎の兩氏は一昨十七日出發各歸任したり

●石井少佐の出發　滯京中なりし憲兵少佐石井權造氏は十七日釜山へ向ふ

●水園少佐の歸任　平壤分遣所長憲兵少佐水園泰明氏は十七日歸任したり

●三增理事官入京　馬山理事官三增久米吉氏は十七日入京京城ホテル投宿

●白山少佐の入京　京城憲兵隊本部附憲兵少佐白山靖氏十七日入京浦尾へ

●川田大尉の入城　陸軍步兵大尉川田明治氏は十七日入京浦尾旅館へ投宿

龍山通信(十八日支局報)

▲龍山民會の開會　龍山民會は一昨十七日午後一時半より開會出席議員十二名欠席議員四名議案第一號前統監故伊藤公の寄附金採納の件第二號議案日韓瓦斯會社の寄附金採納の件第三號議案明治四十二年度龍山居留民團歲入出更正總計豫算以上三件可決協議會に移り

一、民團是を確定するの件
二、諸規則改正の件
三、麻浦街道切下げの件
四、神宮奉齋會支部設置に關する件

以上四項に就き大久保民長は(一)龍山の發展を圖するには爰に民團是を確定し交通、衞生、敎育其他何事にまれ據て取るべき針路を示さゝるを要す(二)會計、稅務、庶務の諸規程中不便不利の點不尠につき改正を要すべきものあり(三)麻浦龍山間の道路は坂路にして交通不便なるを以て兩地が同一民團區域内に在りながら相互利益關係の避疎なるは龍山民團の發展上甚だ遺憾とする處能ふべくんば不便なる坂路を切下げて運搬交通を便にしたし(四)神宮奉齋會支部設置に關する件は何人も之れが設置に異議を挾むは無かるべしされば奉齋期成會の運動に對し民團として出來得る限りの援助を與へては如何との意義にて各項に就て詳細なる說明に適切なる意見を附し之れを各員に諮りしが結局一、二、四件は各員異議無く三件は尙精細に調査の上更に協議することゝなり後之れにて協議會を了り後會計檢査委員の檢查報告ありたり閉會は午後八時なりき

▲新市街發展方法　去る八日龍山新市街の發展方法を講究せんが爲め同所京城民團區域內及龍山民團區域內の有力なる居住者が龍山新市會なるものを組織し德久米藏氏外數名の實行委員を擧げ決議事項の實行を期し之れが運動周旋を爲さんとする旨は既記を經たるが去十六日右の委員等は京城民團山下町出張所に於て委員會を開き昨十八日京城、龍山の民長及龍山警察署長等を訪問し前記新市會の決議に關し意見を陳述せしが何軍司令部、鐵道管理局等に臻り同樣意見を陳述して決議の採容を請ふべしと

東拓會社 小作人の紛擾

▲百七十餘名會社に迫る ▲排日派儒者兩名の敎唆

一昨日東洋拓殖會社東大門外出張所へ洪陵田の韓人小作人百七十餘名押寄せ口々に會社の不法を鳴し喧々囂々社員の說諭など耳にもかけず頗る不穩の形勢なるにぞ電話にて東洞憲兵分遣所に急を告げ憲兵出張の上漸く午後六時頃散解せしめたるが一時は中々の騷動なりしが其原因に就て聞く所によれば元來同會社の小作地たる東大門外の元洪陵田は昨年まで納稅の義務なかりしを本年度より會社定款に基づき四分六分の割合にて取立に逢ひたる爲め大に不平を唱へ出し加ふるに該地に關し本年七月李完用の義兄に當る洪陵參奉及び舊記の二名が詐欺取財にて懲役三年の處分を受けたる程の曰くある土地にて從來紛擾絕へざりしを解決不充分なる儘會社が引受けたる等にて一層小作人の反抗を來したるものなるが會社も是が爲には一方ならず苦心し去る十四日調査役安東義裔外數名にて調査し各里に亘り小作人の陳情を聞き會社の趣旨を說明し漸く解決せしに東大門外淸涼里に居住せる排日派の儒生金鳳衍黃仁泰の兩名は奇貨逸す可らず此機に乘じて運動費をせしめ遣らんと企て大それた考を起し小作徵收の不當に名を假り無智の小作人を煽動して前記の騷ぎを爲すに至りしものにて兩名は其儘留置され嚴重に取調べ中なり

暴漢里長を銃殺

▲犯人は淸國の無賴漢

去る十三日京畿道陰城郡陰城に於て支那人八名にて多數の韓人を集め盛んに賭博を開帳し丁度午よりの最中斯と聞付けたる里長は其場に至り集まりたる韓人等に說諭を加へたるに傍らに在し支那人はナニを生意氣なと短銃を取出すや里長に向つて數發を放ちたれば無殘や立籠めたる烟りの中に里長は非業の最後を遂げたるにぞ韓人等は承知せず其場を去らせず八名の支那人を縛し陰城警察署に突き出したりと云ふ

面長の同盟辭職

▲手當が少ないからとて

前月中の出來事なるが慶北道永川郡各面長は同盟して辭職を郡衙に申出でたり郡衙にては多數の面長が一時に辭職せば郡治の機關の一部休止するに至るべく甚だ不利益なるを以て何んとか善後策を講ぜんものと警察官之が善後策に當り兎も角も面長として一旦提出せし辭表を撤回せしめ此くて一時を彌縫したるが其原因は面長の手當は各面人民に於て負擔し居るが其手當に等差甚だしく相違せるものあり加ふるに面長の事務は漸次增加せる故到底其職に在る能はずと云ふに在り

日淸兩警官を煩はす

▲タッタ金五錢の紛紜

京城本町一丁目裏通三十五番戶魚商杉本武藏(二九)は一昨日午後七時頃朋友の上垣內勘市(二九)と打連れて竹園町番戶不詳淸國人菓子商彈東源(三七)方に至り菓子一個を買ひ求めたるも二錢五厘との事に少し安價に賣れと詰りたるを頑としてこれに應ぜざるに武藏は腹立紛れに件の菓子を菓子箱に投付けたれば他の一個の菓子と都合二個を破壞したるを淸國人は大に怒り突然武藏を傍の溝中に突落して双方爭鬪をたつ初めたるを同行せる上垣內が仲裁者となりて其場は無事に立別れたるが腹穢き淸國人はそれに飽き足らず此旨淸國總巡捕廳に訴出で辨償金五錢を請求せしに武藏は同廳に召喚せられて說諭を受けたる上辨償金五錢を支拂ひて示談にしたるに淸國人は益々圖に乘り腹心の韓人一名を連れて武藏の宅に闖入し來り辨償金の少額なれば追金を貰ひに來たと柄にもなき啖呵を切りて强請らんとせしを武藏も最早堪忍袋の緖が切れ鬪つと立腹して玆に爭論を初め酷しく喧騷を極めたるを遂に日淸警官の出張を煩はして双方を厚く說諭して釋放したるが何處までも厄介なる蛆虫共なり

不審の韓人押へらる

▲山口縣德山町に於て

去る十四日午后六時半頃山口縣德山町東濱崎町を德山署詰三村巡査が巡回せる時擧動不審なる一人の韓人が身分不相應の金時計を所持し居るより怪しく思ひ德山署に引致の上取調たるに此の韓人は韓國大邱西門街李和明(三二)(通稱山田今市)と云ひ昨年十二月頃より本月初め頃まで門司市本町二丁目なる石炭仲仕業池田某の乾分として稼ぎ居たるが本月五日德山町に入り込み一定の住所生業も無く徘徊し居たる事判明したれば浮浪罪にて拘留五日に處せられたり猶右韓人が所持せる金時計に付きては德山署に於ても身分不相應のものなりとて種々審問したるに該金時計は韓人が門司滯在中停車場附近の某時計店にて十一圓六十五錢に買ひ求めたるものにて滯在中は池田某に預け置きたりと申立てたるも該金時計は十八金今回同地へ至るに付き同人より受取り三枚蓋龍頭卷佛環懷中時計にて價格七八十圓位のものなれば確かに贓品ならんと目下嚴重に取調中なりと

記者團の忘年會

京城記者團は一昨十七日午後七時より元大韓日報主筆山道亞川氏の送別を兼ね忘年會を擧行せり出席者は三十餘名にして職業柄風彩は余り振はざれども何れも覇氣充溢せる意氣は風彩の缺點を補ふて充分なりしは例つもながら嬉れし先づ今井黎州氏開會の挨拶を述べ衆員を代表して亞川氏に送別の辭を呈し亞川氏之に答へ夫より黎州氏の動議に依り五分間演說に交々氣焰を吐き其間に三遊亭千朝の落語數番あり客も藝妓も仲居も一同顏を崩して興趣湧くが如く午後十時目出度散會せり、電通の不渴氏旬あり『顏崩す藝妓仲居や年忘れ』

福州丸遭難詳報

最近其筋に到着したる福州丸遭難の詳報を聞くに同船は去る九日午前四時前後に於て小靑島山頂を正橫に認め其後白鍋島に進路を取り降雪及潮流にも頗る警戒を加へ進行中折柄急激なる潮流及强風と降雪とに遭遇し遂に同船は其の位置を誤り觸礁するに至り左舷船底ビルジ附近約二間位破損し前船に浸水甚しく獨行の見込無く人命船体救助の爲め白鍋嶼崖角西方の砂濱に乘揚げ漸く人命は無事なるを得たる由にて船体の前船は全部浸水を爲せしも他は異狀なしと

當世請負師氣質

旭町三丁目三日月旅館へ止宿中の請負師影井松太郞(四〇)は南部美洞統戶不詳金昌洙(四〇)に五間の諸負仕事を爲さしめて內金二圓を渡したるも殘額を請求するも頑として應ぜず金は一昨日午後七時頃影井を其宿所に訪ふて最後の談判を持込みたるに影井は大に怒り不法にも金の頭部を强か亂打したる騷ぎに遂に南部署に引致せられ今は富久尾醫師をして診察せしめたるも負傷輕微なれば影井より金五十錢の診察料を支拂はしめて示談にせり

仁川會の發會

當地花月の藝妓勝利、れ民淸華亭同梅之助、れ蔦、市駒の五名發起にて曾つて仁川在住の人士にして目下當地に居を構へる人々を召集し今十九日午前十時より京城ホテルに於て懇親會を催す筈なるが何れも堅くるしきを廢し極く打ち解けて盃を溫むる筈なり藝妓の幹事とはさても振つたり尙は案內不着の向きも多かるべければ贊同者は開會時刻迄に出席せらるべしと

職人同志の喧嘩

明治町二丁目百六十四番戶鐵工職右城喜市(三七)は昭町七十八番戶武力細工職岸本安次郞(三七)に煙突の製造を賴みしも安次郞は言を左右に托して遷延し居たるを一昨日午後六時頃喜市は一杯呷りて安次郞宅に押掛け行き嚴談を開始したるを安次郞は恰も食事中なりしが突然喜市の頭部を毆打し安次郞も敗けては居ず有合せたる鹽箱を喜市目懸けて投打たる騷ぎに遂に其筋の厄介となりて事濟み

泥醉石工の亂暴

壽町三丁目北星館下宿人石工職大分縣平民入本久太郞(三五)は朋友なる向野重吾といふ男と打連れて去る十五日午後十一時頃壽町二丁目十番戶料理店大橋尾事川本巳之介方に登樓なして後非常に酩酊なし亂暴にも表の點燈を破壞したるを訴に依り本町派出所警官出張して一圓五十錢の辨償金を支拂はしめて說諭解放したり

壽座の蓋明け

先般福井伊東の合同を以て開場せし新劇場壽座は今回新町南山樓主人櫻井文太郞氏興行人となり馴染の伊東文夫一派にて來る二十日初日開演藝題は響と當り籤なり尙ほ年末は僅か五六日にて打揚來春一日より引續き開演の筈

八十圓の拐帶

仁川寺町二丁目饗庭庄市の弟庄六(二七)と云ふは一昨日午後三時頃同家より現金八十圓を拐帶して何れ共なく姿を隱したれば取押方を其筋に屆出でたり

猩紅熱の猖獗

南山町一丁目四番戶村木某の娘房枝(五)は猩紅熱にて十七日死亡せり

二面辭令

十七日附を以て新町皆春樓の妻八女郞は二百圓にて龍山桃山遊廓大黑樓へ鞍替へ▲橫濱生れ田邊らい(十九)は前借金三百圓三箇年の契約にて玉家より源氏名を都と名乘り▲橫濱生れ太田きゑ(二〇)は三箇年間四百圓にて美容と稱し▲神奈川縣生れ芹澤せい(二五)は三箇年間四百五十圓にて濟香と呼び▲神奈川縣生れ原田さき(二三)は一箇年百五十圓にて式部と稱し何れも第一樓支店に顯はれたり

歲末贈答の好適品

貴婦人紳士間に愛用せられつゝある大阪中山太陽堂製のクラブ洗粉は製造主に於ても其後改良を加へて原料の精選に熱中し包裝の意匠に今や殆ど間然するところなく上は貴婦人令孃より下は下女はしたの末に至るまで之れを使用せざるなく同製造所にては日夜製造に忙殺さるゝ有樣なるが昨今クリスマスの贈答品として外人間に非常なる好評を博し歲末年始の贈答用として注文莫大にして殊に繁忙を極め居れる由

實用的紋附羽織地

上野國桐生町大和屋呉服店の製織に係る新市樂黑紋附羽織地及新羽二重黑紋附羽織地は絹糸代用シルケットを使用し殊に化學的染色法を施したれば光澤善美にして變色の憂ひなく實用的羽織地として好評嘖々たり今回東京支店を開設し特別割引の上紋代無料にて調製する由なれば地方よりの購求者は尤も便益なる可と

新町の健康診斷

一昨日新町遊廓健康診斷所に於て娼妓の檢梅を執行したるに九名の入院患者を出し受診者總數百八十八人中休業其他を除き健康者は百五十七人なりと

一昨夜の新町と敷島

新町遊廓の嫖客は八十四人散財高四百十圓六十八錢亦仁川敷島遊廓の登樓客は五十八人にして消費高は百六十三圓六十三錢也

本日の集會說敎

旭町二丁目日本メソヂスト敎會にては朝九時半より聖書研究、十時半より禮拜說敎、夕七時より感話並に『朝、入爲と自然』『夕、パウロの神觀』なる木原牧師の說敎あり▲日の出町なる京城基督敎會にては午前九時日曜學校同十時禮拜說敎午後七時より傳道說敎あり『朝、過去と將來』『夜、星夜のインスピレーション』米澤牧師

正誤

本月十六日發行第一面廣告欄中の京城時計輿振會廣告文中提供品目第三號金側は銀側の誤植に付玆に訂正致候也

各地の新聞

炭坑變死者葬儀

大の浦炭坑變死者葬儀は十四日午前大の浦學校內に於て執行導師は本派本願寺連枝明淨院にて各宗の僧侶百名之に陪し嚴肅なる讀經の後貝島太助貝島定次氏等弔辭を述べ遺族七百五十名貝島一族桐野坑全員其他の六坑の總代所屬學校生徒百四十名佛敎靑年會同婦人會員四百名を主とし監督署員縣官代議士縣會議員等無慮三千人の參拜あり遺族には菓子折詰を供養し遺兒百三十五名には夫々新調の衣服を與へ尙幼少の者に保姆を附して參拜せしめ午後三時式を終れり

大連市場の大火

十四日夜大連官立市場全燒し店舖類燒百四十七戶損害十數萬圓に及ぶ

大連避病院燒失

大連東醫院(避病院)主任室より十五日午前三時出火し備人と看護婦にて患者二人を救ひ出せしも爲に看護婦山崎むらは負傷し他の看護婦下阪ひさ(三七)燒死す

臺灣新高山の高

新高山を中心とせる附近諸高山の海拔は左の如し

新高山中峯 一萬三千七十尺
新高山南山 一萬二千七百六十八尺
新高山北山 一萬二千七百六十尺
新高山東山 一萬二千八百十六尺
新高山西山 一萬千六百九十八尺
新高山前山 一萬七百六尺
秀姑巒山 一萬二千六百八十尺

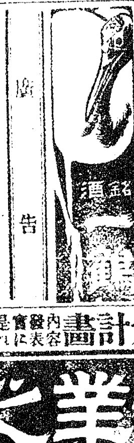
福岡地方の大雪

福岡地方にては過日來溫度急に降下し折々降雪を見たるが十五日未明より細雨降りだし黎明よりは雪と變じ午后三時頃に至りて漸く止みたるが正午の溫度は三十三度四にまで降りたり下關にては一兩日前來寒氣激增せしが昨日拂曉來降雪霏々として午前十一時に至り屋上寸餘の積雪を見るに至り尙ほ歇まざりしが下關測候所の談に依れば昨朝來高氣壓は淸國揚子江にあれば此の儘維持する時は降雪霏々として平穩なるも或は變化を來し暴風となるやも知れずと云ふ門司にては十五日夜來寒氣に伴ひ降雪續き翌朝一面の積雪を見午後に至るも尙ほ降續きたりと

大阪關屋町大火

大阪市南區關屋町番外千四百三十五ガラス製造業森下總造方煙突より十五日午後八時頃火の粉を散したるが菊人形賓花園の屋上莚に飛び此所より發火して東西關屋町を通じて五十軒、半燒三十戶、古物市場二ケ所を燒拂ひ十二時十五分鎭火したり

廣告

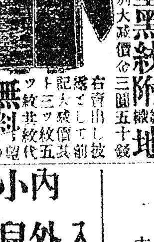


移轉廣告
今般左記の處に移轉致し候
京城南部黎洞廿一統六戶
(農商工部前橫町)
辯護士 藤井太郞
(電一〇六七)

歲暮贈答適當品各種品揃
多少に不拘御注文の程偏に奉願上候
歐米雜貨。洋酒食料品。洋煙草類
直輸入商
京城本町 辻屋
本店電話一四八番
支店電話三六六番

新年號 大計畫 內容發表 實に是れ 空前の大偉觀
實業之日本
十二月十五日發刊 第拾貳卷第貳號 廿六號
◉余は夜逃の危機を如何に脫したか……藤原有信
◉新聞雜誌を精讀して成功せる……田野井多吉氏
◉資本窮乏が藥となつた開店前後の大奮鬪實驗……
◉此覺悟にて新年を迎へよ……新渡戶博士
▲新年號空前大計畫發表
▲如何なる大附錄が計畫されしか(我社の外は誰も模倣する能はざる大附錄)
▲如何なる名流が網羅されしか……(我社の外他に現はれざる我國第一流諸名士)
▲如何なる珍記事が豫告されしか……
◉新年の廣告をして有効ならしむる文字使用法……大隈伯爵
◉余は斯人に就て如斯活學問をなせり……中田敬義
◉職業難の問題は如斯解決せよ……
◉最も有効なる避寒衛生法……桂田學士
東京京橋南紺屋町十二 振替貯金口座參貳六番
實業之日本社
賣捌 全國各地書店

新りんす羽織裏地
一枚分大減價金一圓九十錢
優美高尙廉價無比羽織裏地として本品に比す物なし
製織元 上野國桐生町振替口座一七八九一番 大和屋呉服店
發賣元 東京芝區高輪北町振替口座一九九五〇 大和屋 東京支店



絲相染色堅牢何回洗濯するも變色の憂なし官吏學生諸君の御常用に適す殊に本年は商人農家等地味向に無紋無地黑無地を發賣す代價同前に御座候
無料 紋付は五ツ紋共紋代三ツ紋五ツ紋共 方は紋形にて 手附金五十錢

右賞出し披露として特別大減價
新市樂黑紋附羽織地
正價五圓の處特別大減價金三圓八十錢
新羽二重黑紋附羽織地
正價四圓の處特別大減價金三圓五十錢

味の素
一味の素は和洋料理は勿論一般の家庭料理として日常欠可らざるものにて鰹節や昆布の樣に色々面倒な手數も入らず誰れにでも即座に用ひ得らるゝ調法及經濟的調味品であります
定價一瓶(四十五錢)(三十錢)
他地方は引換小包にて送ります
韓國特約店 京城 辻屋 電話二四八番

眼科專門
京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院 (電話三三)
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

自轉車大安賣
角商會代理店 前川自轉車店 京城南大門通

專賣特許四九八七號 製造人東京山崎氏
營養體爐
大 七寸五分 巾四寸 中 高二寸一分
本器は世に有ふれたる懷爐の比に非ず特に衛生を重んじ作りたる物なれば六氣を藥劑に避し融和穩暖攝生完備なり一本の灰にて能く二十時間を保ち入れ尙に好適の良品なり
定價壹個金三十五錢灰十本金七錢
特約販賣希望の方は特に御相談申上候
防寒具專門 東京市神田區鍛冶町十四番地 商 寺尾屋 振替貯金口座一八一〇二番

擴張廣告
今般拙者有名なるソンタクホテルの跡を引き受け改良に改良を加へ精々勉强仕候宴會其他の準備も整へ居り料理も御望に依りては至極廉價を以て御調進可仕候何卒御遊旁々御高來の程切に奉願上候
京城貞洞 ソンタクホテル 主人 ジ、ボエル 電話七三九

入院隨意
內科外科 小兒病 梅毒淋病
京城壽町三丁目 高井醫院 電話(二二六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

銃砲火藥
各種獵銃 護身用ピストル 新式空氣銃 獵用火藥 鑛山用火藥

吳服半衿帶上帶締其他紐類各種
京城本町一丁目 ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部
●徒弟入用 十三歲より十五六歲迄五六名採用 明治町一丁目 糸山鐵工所
●求職 昨今渡韓の靑年拾九歲事務員又は商家に雇れたし 氏名在社（四九〇）
●望勤務 病院又は醫院藥局へ ケーヂー生（四九三）

物件部
●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻椽二階六疊二間廻椽井戸物置湯殿付家賃面談 氏名在社（四七八）
●貸家 北部齊洞廿九の四貸家あり宮內府其他韓國側各官衙には便益の地希望に應じ賄致し候
●貸家 京城吉野町間數四間湯殿付官吏又は會社員向希望者は電七四番へ

廣告

統監府御用 宮內府御用
軸物、表裝、金銀屛風、額面、襖、壁張、天井張、雨戶、障子、硝子戶其他表具、建具一式
表具建具商 京城旭町（電話一一八七番） 石川辰次郎

電話開通 五三九番
建具指物類硝子板販賣 龍山榮町 渡邊商店

電話開通 五四六番
鶏鴨其他鳥類販賣 龍山元町三丁目 津村漁獵團

電話開通
針炎按摩マッサージ術 龍山川端町七番戶 若木京松 電話六一八番

◀日本の二大賣藥▶
全國各藥店にあり

代理店
京城南大門通三丁目 新井藥房本店 電話（九百四番 千六十八番）
京城本町三丁目 新井藥房分店 電話（四七八番）

移轉廣告
謹啓各位愈御淸適奉賀候陳は弊店儀從來壽町三丁目にて營業罷在候處今般左記の處に移轉致候條何卒倍舊御引立奉願上候 敬具
京城本町六丁目 諸紙商 播本商店 電話一一〇番

景品附歳暮大放賣
京城本町二丁目 富田靴店 （電話九一九番）
十二月十五日より卅一日迄

石川高等法院判事閣下校閲
今村內部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
統監府裁判所監獄署警察署法規提要
◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利
◎全一冊◎紙數凡六百頁○郵稅[illegible]◎定價金六十錢
右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を協約、官制、官規、等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白をも存し隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之候て更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前同豫報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此段謹て々御用仰せ付られ度奉願上候 敬具
明治四十二年十二月一日
京城 日韓印刷株式會社出版部

製造販賣
大韓製革所
品目概
靴用革 鞄用革 馬具用革 器械用革 精米用磨革 軍隊用革 帶用革 緞物用革 袋皮 毛皮鞣
京城南大門外吉野町（葛月里） 練兵場北隣
電話九五三 電略（テ） 若しくは（ㅌ）

東京火災（海上運送）保險株式會社
明治廿年七月創立 資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

美術書畫 襖、壁、天井張
京城壽町一丁目 桂萬吉

破天荒の大勉强
▲電話開通千二百九十七番▼
豫て料理の美味と輕便と廉價を以て命として營業致し居る海山亭は今回東京より腕利の板場を迎へ會席御一人前五十錢より十圓迄如何程にも調理致します取り分け忘年新年の御宴會は破格の勉强致しますは故ぜひ御光來の程願上ます
▲忘年新年御宴會と海山亭▼
海山亭
京城櫻井町 電話千二百九十七番

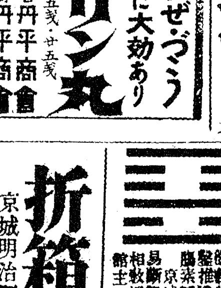
改修落成と電話開通
久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御贔負の程願ます
京城旭町二丁目（名古屋城横へ入る） 待合 醉月 電話二六五番

擴張廣告
兼て御引立に預り難有奉謝候就ては今回內地より仲居藝妓四五名を招き板場も腕利者を雇ひ其他料理も大勉强を以て仕出し仕候に付忘年會新年宴會には何卒御遊旁々御高來の程切に奉願上候
京城櫻井町（電話九七八番）

▲忘年新年 宴會は梅の家に限る▼
破天荒の大勉强
どんな少數の御宴會でも丁寧に何程多數の御宴會でも粗漏のなきことは梅の家の獨擅ですか、取り分け忘年宴會、新年宴會は破格の廉價で輕便に、氣樂に召上られます樣に御つとめ申上ますから御光來の榮を賜はり度御願申ます
御料理 大和町三丁目（電話七三五） 梅の家

きゝめのある溫泉湯
此の溫泉は左の如き病に最も妙なり
かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん膓胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他內用には鐵冷溫泉を用すれば尤も效能あり
貸席 京城本町二丁目郵便局前 鐵冷溫泉

世界一のかぜ藥
全國藥店にあり



アンチピリン丸
ねつ・はやりかぜ・づつう りうまちすに大効あり
藥價 五戔・十戔・十五戔・廿五戔
發賣 大阪心齋橋二丁目 丹平商會
本舖 東京[illegible] 丹平商會

電話開通 一三九四番
鋤燒 御一人前 金二十五錢
此の外何んでも輕便と安直とを以て御客樣には極て叮嚀に親切に御つとめ申上ます故に忘年宴會や新年宴會には何卒御遊旁御光來の榮を賜り度奉願候
京城北米倉町 會席御料理 花の家

神戶資生分院 京城梅毒病院
京城相生町（南門湯横）
◎花柳病專門並、痔（注射療法）
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平 （電話一二九四）

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
大上商店
京城本町五丁目
和洋酒、◎精酢、穀物、麵類、銘茶、罐詰、乾物、荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候 （電話二五一番）

辯護士 特許辯理士
岩田仙宗
京城明治町二丁目（佛國教會前） 電話三五四番

歐米新式 高等裁縫
龍山元町四丁目二十八番戶 丸濱洋服店
弊店は廉價と叮嚀を旨とし精々勉强仕候

宮內府博物館御用
古今美術書畫表裝 金銀屛風襖洋式天井張
表具 松月堂 壽町二丁目 電話千〇〇三番
精實を旨とし大勉强仕候也

三一舘
[illegible]
易斷觀相敎授 京城本町五丁目
館主 土御門派大陰陽師

折箱製造元
京城明治町一丁目五十番戶 漢城病院下横へ入ル
箱信事 鳥山商店

佐藤病院
龍山元町二丁目 電話一〇三番

大勉强
理髮 長崎床
龍山榮町民團役所下四ッ角 塚田

歐米新式 高等裁縫
龍山榮町 田口洋服店 電話三二三番

龍山若松町 島崎鐵工場 電話四四一番

入院隨意
龍山新市街山下町
內科 小兒科 眼科 原醫院

陸軍諸官衙御用達 建築土工請負業
龍山老松町 磯口商店 電話一一九番

日本郵船株式會社
濱船仁川出帆廣告 電話十番

貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 十二月十九日後三時出
●大連、太沽行 高砂丸 十二月廿一日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三日午前六時出
●大連行 酒田丸 一月三日正午時出
●釜山出帆 元山、淸津、浦鹽行 立神丸 十二月廿九日午後時出
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ[illegible]